



山口県の温泉資源とその魅力

北出 恭子¹⁾

(令和5年9月27日受付, 令和6年1月28日受理)

Hot Spring Resources and Attractions of Yamaguchi Prefecture

Kyoko KITADE¹⁾

1. はじめに

環境省・令和3年度温泉利用状況によると, 日本の温泉地総数は2,894ヶ所, 源泉総数は27,915ヶ所, 湧出量合計は2,518,885ℓ/分となっている。その中で山口県は45ヶ所の温泉地, 400ヶ所の源泉数, 23,458ℓ/分の湧出量があり, 中国・四国地方の中では温泉資源に恵まれた地域であるといえよう。また, 三方を海に囲まれ, 内陸部は中国山地が横断する山口県には, 海辺の絶景温泉や, 山や川に恵まれた森林の温泉など風光明媚な温泉地が多いため, 温泉成分による薬理作用や温熱・水圧・浮力などの物理作用のほか, ストレス解消や疲労回復といった転地作用も期待できる。

一方, 県内には歴史的な名湯も多い。特に, 住吉大明神からのおつげによって開湯されたとされる県内最古の「長門湯本温泉」, 怪我をした白狐が温泉で足を癒していたことで発見されたと伝えられる「湯田温泉」, 神功皇后が周防灘を航海中に立ち寄り熱を出した皇子を温泉で治療した伝説が残る「湯野温泉」は「防長三名湯」といわれており, いずれも県内を代表する歴史的温泉地である。ここでは, 山口県下関市出身の温泉専門家として, 山口県における温泉資源とその魅力についてこの機会に報告をしたい。

2. 山口県における温泉資源の特性

環境省が定める日本の泉質は10種類に分類される。筆者の独自調査において, 山口県にはそのうち, 単純温泉・塩化物泉・硫黄泉・炭酸水素塩泉・放射能泉・二酸化炭素泉・含鉄泉という7種類もの多彩な泉質が存在する。その中でも角質や皮脂を除去する働きがあるとされ, 一般的に「美肌の湯」と呼ばれることの多いpH8.5を超えるアルカリ性単純温泉の比率が非常に高い。また, 堀

¹⁾温泉家・杏林大学地域総合研究所客員研究員。 ¹⁾Onsen Expert・Kyorin University Regional cooperation Visiting Researcher.

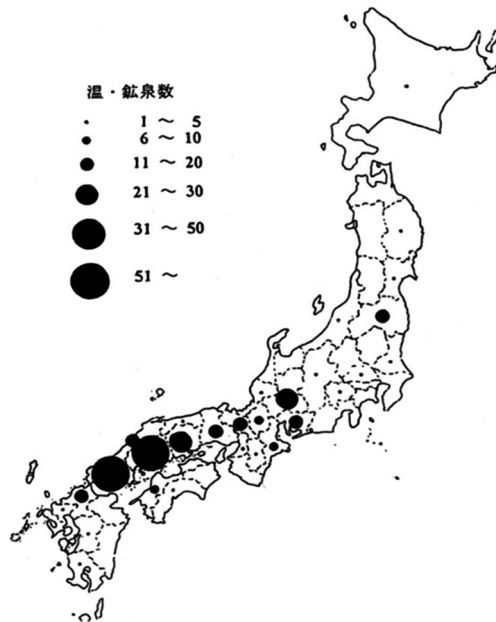


図 1 都道府県別放射能泉分布図
(注) 堀内公子 (2001) による。



写真 1 長門湯本温泉「恩湯」



写真 2 下関つくの温泉「ホテル西長門リゾート」

内 (2001) によると、全国的にみて山口県は放射能泉の割合が高い。さらに、山口県は 25℃ 未満の冷鉱泉が全国で 3 番目に多く、400 ヶ所ある源泉のうち 280 ヶ所が 25℃ 未満の冷鉱泉であることも特筆すべきであろう。

3. むすび一天与の魅力を活かして一

以上のように、山口県には質・量ともに恵まれた温泉資源が存在している。加えて、豊かな自然資源や地域特性を活かし、今後は医科学的なエビデンスの蓄積やプログラムの構築、さらに適切な情報発信を続けていくことが重要であると考えられる。例えば、多様な泉質別の健康・美容効果の測定、海や山などそれぞれの自然環境下における心理的作用、冷鉱泉を活用した温冷交代浴によるアス

リゾートのリカバリーやサウナとの相乗効果などを立証していきながら、インバウンドも取り込める新たな「やまぐち温泉ツーリズム」の確立を目指して欲しい。

参考文献

- 1) 堀内公子 (2001) : 「日本の温泉と放射線」, 日本放射線技術学会雑誌, 57 (12), p 1462-1468
- 2) 環境省公式ホームページ, 「温泉に関するデータ」, 「令和3年度温泉利用状況」 <https://www.env.go.jp/nature/onsen/data/> (最終閲覧日 2023/7/31)
- 3) 長門湯本温泉旅館協同組合公式ホームページ <https://ryokan.yumotoonsen.com/> (最終閲覧日 2023/7/31)
- 4) 湯田温泉旅館協同組合公式ホームページ <https://yudaonsen.com/> (最終閲覧日 2023/7/31)
湯野温泉事業協同組合公式ホームページ <https://yuno-onsen.jp/> (最終閲覧日 2023/7/31)